

中國四國九州保育聯盟成らんとす

主幹 倉 橋 惣 三

本月二十三、四兩日を期し、岡山市の保育大會に於て、中國四國九州保育聯盟は生れようとしてゐる。所謂日本保育地圖を按して、吾人の久しく熱望せるところのもの、今まさに成らんとしてゐるのである。

此の聯盟の目的、意義、計畫、すなはち其の大いなる抱負に關しては、創立の會場にて、主盟者の口により、満場の拍手の裡に語らるゝのを、樂しきおあづけにして置くべきである。たゞ吾人の豫め一言を禁じ難きものは、此の聯盟に對する満腔謳歌である。

此の聯盟は先づ地の利頗る其の自然を得てゐる。聯合の中心地帯たる山陽諸縣は、抑も最初から一本の帯である。四國と九州とは、瀬戸内海の懷中鏡を挾んで之れと相抱擁して居る。もとゞ之れは、互に切り離すのが無理な位である。一層接續してゐながら、手が背中へ届かないといつたような關係にあつた山陰と山陽とは、伯備線の開通以來、全く一つになつたと言つてもよい。近畿地方以西の一大連結地方として、當然聯盟せらるべき地理にあるのである。

次に、此の聯盟の成るべく、機まことに熟せりといふべきである。すなはち、聯盟單位たるべき各縣は、殆んど全部保育會を有し、それ自身として皆盛んなる進展の意氣を示してゐるのである。殊に各縣保育會共に、夫々熱心なる中心的人物を有し、從來と雖、常によく相識り、相携へてゐた關係が多いの

である。

更に、今回自ら進んで一切の勞を執つてゐる岡山は、此の聯盟の主唱者として、最も好適なる要件を具備してゐるのである。岡山が幼稚園教育の發達に於て、豫ねて天下の雄たるは更めて言ふまでもなく、加ふるに近年二回に亘つて全國保育大會の開催者たる豊富の實力と經驗とを有してゐる。而して、之れ皆、縣市教育當事者幼稚園關係者の熱心及び一般社會の、保育に對する理解によるものであると共に、其の中心に於て、吉備保育會長國富友次郎氏の人格と名望と、保育に對する熱誠とによること極めて多大なるものあるは何人も熟知せるところである。

斯くの如くにして、此の聯盟は、實に其の成るべきの勢を以て成らんとしつゝあるのである。其の堅實強固なる發展は期して信ずべきである。而して、之れが聯盟内各縣市保育界の充實を進め、更に社會的に益々斯の教育を擴充する上に、如何に大いなる効果あるべきかを疑ひ得ない。のみならず、その効果は單に西日本に止まらず、之れが先例となり機會となりて、全日本各地方に、次々に保育聯盟の成立を見るに至らんことも明らかである。實に斯界のために、欣慶措く能はざるところであり、我國の保育發展史上、大に特筆すべきである。

因に、全日本が將來幾個の地方的保育聯盟に集結せらるべきやは自然の勢に待つべきであるが、各地方先輩の奮起を切望せざるを得ない。而して、地方的保育聯盟は、其の聯盟に對する重要な職能を發揮し得べきと共に、更に、各聯盟が強固有力なる中間單位となりて全國保育聯盟の大成を實現するに至らんことは、實に胸躍るが如き希望ならざるを得ない。それにつけても、先づ第一に努力せられなければならぬ問題は、現在未だ保育會を有せざる地方に速に其の創立を見んことである。世は動きつゝあり進みつゝある。獨り停頓することを許されなす。